

委員会だより

<10月3日(日) 12名出席>

【1】財務報告：99年9月度決算報告

(単位：円、括弧内数字は99年度年間予算)

	99°収入累計	99°支出累計	収支差額
一般会計	5,823,589 (6,367,268)	5,406,948 (6,267,268)	416,641 (100,000)
建設会計	4,228,406 (3,245,476)	728,700 (2,873,000)	3,499,706 (372,476)
愛の献金	773,415 (861,749)	418,950 (520,000)	354,465 (341,749)
信徒預金	391,847 (841,673)	200,135 (680,000)	191,712 (161,673)

- 特記事項：◆一般会計：神父様から特別献金¥112,000、火災保険料支払 ¥206,250 (H11年10月20日～H12年10月20日分)、本部分担金 ¥10,000(第3回支払)本部積立金支払 ¥60,000(第3回支払)、バザー資金として信徒会会計へ付替 ¥200,000
- ◆愛の献金：指定外献金としてトルコ地震被災者救護募金 ¥50,000
 - ◆信徒会計：バザー準備金支出 ¥100,000

【2】議題：

- (1) 第5地区福音宣教委員会、七浦さん報告 (9月19日戸塚教会にて開催。清尾さん出席) [詳細は3頁参照]
議題(1)：2000年の大聖年に向けての各地区の報告：中和田からは「巡礼の積極的参加」を報告
議題(2)：第5地区内の福祉の充実：各地区でどの様な福祉活動が行われているかアンケート調査を行う。各地区で担当者を決め、原宿教会山本神父様に連絡。
議題(3)：第5地区インターネットホームページ開設：10月3日担当者会議。中和田教会から小野氏出席。
議題(4)：報告事項 (骨子のみ)
◆滞日外国人と連帯する会：9月16日 10:00am 逗子教会にて国際ミサを行う。
◆湘南短期キリスト教セミナー：片瀬教会にて下記日程で開催(時間は14:00～16:00) 11月13日(土)高祖神父 (ザビエルにとっての日本宣教)
11月20日(土)Sr.渡辺和子 (時間に愛をこめて)
11月27日(土)A.デーケン神父 (生と死とユーモア)
申込締切は11月6日。当日申込可。参加費は¥1,000 (全3回セミナーに参加出来る)。
◆一粒会報告：市岡神父様叙階式以来の祈りのラリー、10月原宿、11月戸塚、12月中和田で終了。
議題(5)：各小教区活動報告.....省略
- (2) 七五三のお祝い：
◆該当人数調査中。
- (3) バザー準備状況：
◆バザー券、食券の販売状況だが、まだまだの状況。(それぞれ9月19日、9月26日に発売開始)
◆青年会でピンゴゲームを計画中。
◆10月23日にバザー委員会開催、10月30日(バザー準備日)のごミサは4:00pmより。
- (4) 地震見舞いについて：
◆トルコの場合は済。ギリシャ、台湾などの見舞いについては、本部要請があれば対応する。

壮年会だより

<10月17日(日) 12名出席>

- ◆10月3日に開催された教会委員会の報告の内、第5地区宣教委員会(3)議題の第5地区インターネットホームページ開設に関して、担当者会議に出席された小野さんから、詳細な説明がありました。いよいよ情報化時代に向かって宣教活動の新しいスタートです。「継続は力なり」と申します。自由な発想と表現がこれから続けて求められます。壮年会員も経験と知恵を提供して、宣教に役立つ一石となりましょう。
 - ◆壮年会のバザー取り組みについて、協議の結果焼きとり焼きそば焼きいか及び飲物は昨年どおり実施と決まりました。今年も手慣れたベテランの会員に頑張って頂くことになりました。昨年評判があまり良くなかったポイルいかは取り止め、お馴染みの生いかを復活し味の向上をめざします。皆様のご来店をお待ちしています。
- 「雑談コーナー」
横浜教区主催の(ザビエル渡来450年祭記念巡礼団)に参加された下村さんから、聖フランシスコザビエル奇跡の片腕の「聖腕行列」を目の前にして、感動されたことを交えたお土産話を伺い、加えて小野寺先生から当時の国際情勢と、国家と布教の狭間で苦悩するザビエルの姿が目浮かぶようなエピソードと、今後の教会の展望が語られ大変感銘深いひと時を過ごしました。

婦人会だより

<10月17日(日) 39名出席>

- ◆委員会報告
- ◆その他の報告とお知らせ
◆11月5日10時より亡くなられた方のための死者ミサがあります。
- ◆石井洋子様が生子を出産されました。おめでとうございます。
- ◆11月14日(日)栄光学園において婦人同志会の総会があります。梅村昌弘神父様司式のミサと講演があります。

次回例会は11月21日(日)、次回当番はB地区です。

ミサ当番表 (99年11、12月)

月/日	主日	朗読、奉納	オルガン
11/7	年間第三十二主日	壮年会	森田
11/14	年間第三十三主日	青年会	大宮
11/21	王であるキリスト	婦人会B地区	美底
11/28	待降節第一主日	壮年会	森田
12/5	待降節第一主日	壮年会	大宮
12/12	待降節第一主日	青年会	美底
12/19	待降節第一主日	婦人会C地区	森田
12/24	主の降誕(夜)	壮年会	大宮
12/26	聖家族	壮年会	美底

※当番の方は10分前には集合して下さい。ご都合の悪い方は典礼委員(萩原氏:TEL 802-6258)までお申し出下さい。

今月の予定

委員会	11月 7日
七五三御祝日	11月 14日
待降節第一主日	11月 28日
サロンレジオ	11月14, 28日 12, 19, 26日



第252回

中和田カトリック教会
広報委員会発行
泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141
1999年11月7日



遠い道 ⑤

山崎正俊



私はびっくりしました。その人は、たいへん怒って叫んでおられます。何んと云ってあげたらよいのか、迷っています。それでお相談ですがという、電話です。秋田からのお話です。どなたからのものなのか、わかりません。私を知っているお方からの、突然の呼びかけのようです。「そのことで、それほどにもトリミダスとは、適当ではないと思います。私のような『田舎教区の司教』が何んと云ったところで、どうにもなるものではありません。とお答えがえされるのは、軽率といえるものでしょう。けれども、それに対する反発も、もっともなことだと、私は思いますが、この受け応えは、どっちもどっちですよ。キリスト教会の信徒としては、その司教様の態度には、祈りを以て、主のおはからいを、お願いするしかないでしょう。――被差別部落の問題で、賀川豊彦先生の若い日の仕打ちは、ひどいと思ったものです。それは悪魔でもしそうなことです。弱い者たちにたいする世間の普通の考えですから。いくら、その在り方を尊敬している人のことであっても、この先生の言葉に、このことに関してでは、そのまま同調することは、できませんでした。そればかりではありません。いまも、その名を口にすることは、できません。弁護するなど、とんでもないことです。この先生は、その出生について、ひどくブジョクされるような時代に生きておられたはずですが、それでも、一緒に悲しむことはしても、その原因となっている『当時の人の差別感情』を受け入れることなど、できたことではありませんし、改めさせ、止めてほしいと願うものです。――どうして、何んのために、神様などが、それを「だまっておられるのか」とさえ思い、「神様の愛」は何を示そうとしておられるのかと思ひ、いらだたくも感じながら、どうしたらよいか、わからない。

この世には、地上に人が生きはじめて、どれだけの日時が過ぎているのか。それでも、様は何を見ておられるのか。私は、自分がないものねだりをしていることを承知しながらも、神様に向って呪いの声をあげているのだ。とんでもないことと知りながらも、八十年も過ぎていて、「よいかげんにせんかい」としながらも、急には、やめたくはない。神様なんて、「とんでもない奴だ」と云いつづきたい。あの司教が、ヨコハマ教区の司教だったら、どうするか。決して「ジョウシ」なんかにしたくない。それひとつでもか。そうだ。いまのおまえのままだもか。そうだよ。――俺も、バカな奴だな。何故、神様は、俺なんかを「司祭」のままで置くのか。ズブズブしくも、この俺が、ここに居坐っておれるとは、何をさせるつもりなのか。神様は。

何故か。「聖母の騎士」の九月号を読んでいる。いま。そして、一頁。その前頁。次の頁を、読みつづける。そして、ブラジルに四十年もまえから働いている知りあいの神父の訳書のこと。読者の投書など。(昼食)、そして、聖書の研究についての小著。ああ。ものの見方。尊い考え方。神の「愛」についての胸打たれる思い。その精進。反省。

あの司教様の嘆き。大司教様のいまも変わらない、愚かな結論。我ながらの、どうにもならない生活の流れ。どうしたことだろうか。いまさら、時を帰すことはできないものを、それを見つめながらの生きつづけしかない。

感動すべき、あなたの祈りと「ひたすらな 生き方」を思いながら、誤解のないようにと、直接のおこたえをしたくて、お返事を さしあげます。私もあなたの心に合わせ。

<1999. 8. 9>

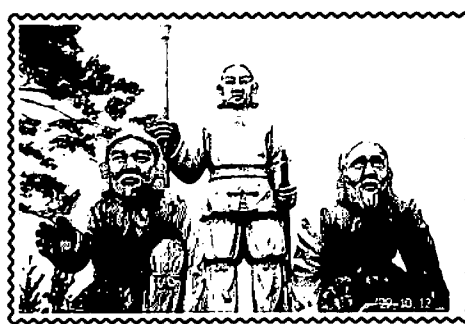
ザビエル渡来四五〇年祭と九州観光

花坂 昌子

鹿児島空港に着いたのは十一時半、私達同行六人の「ザビエル祭」と九州観光四泊三日(内車中泊含む)旅の初日である。鹿児島駅行のバスに乗り、終点でタクシーに乗り換え、会場のアリーナに一時に到着、ミサは二時に始まった。千人以上の熱い視線がザビエルの聖腕に注がれる。主司式者は教皇特使のエドムントショーカ枢機卿で流暢な日本語で祈られる、共同司式者は白柳大司教始め十八名の司教の盛大な荘厳ミサは遠く見てくく、両側のスクリーンに大寫される。聖歌隊と会場からの大合唱は、天の彼にとどけとばかり響き渡った。

彼は日本に最初にカトリックを布教した宣教師であり、腐敗を免れた遺体、そして聖人である。今日では生彩を失っているが約百五十年間は奇跡的に新鮮さを保ち徐々に柔軟さを失っていったと云う。切断された右腕は四百年祭では二ヶ月半の間日本の各地で崇敬された。聖腕は近くのザビエル教会に移動され、夕刻再び礼拝した。黒ずんでいるが、右手を真っすぐに立てており、「聖腕」が多くの人々を導き布教した偉大な聖人のものだと痛感した。

一日目はかんぼの宿城山会館である。古い旅館に皆がっかりしたが、食事は最高で味よし品よしで皆満足した。六人は気心も知れ良くまとまっていると思う。窓からは桜島が近づいて黒煙を噴いており九州にいるのを実感した。翌朝早々に宿を出て鹿児島駅から宮崎経由延岡駅へ。ここからは高千穂鉄道に乗り換え高千穂に向かう。小雨が降って肌寒い。二輛編成の赤い電車で、なんとコーヒーのサービス付きがいい。トロッコ電車のように山間の森林、清らかな川、段々畑と曲がりくねった路線をゆっくりと走り、田園風景を心ゆく迄満喫した。高千穂に着き小型バスを頼み、まず天岩戸神社に向かう。十月中旬なのに外は蒸し暑く車内のクーラもきかない。天岩戸開きの神話があり東宮には天照大神、西宮には天岩屋を祀る二つの拝殿がある。清らかな渓谷を十五分程歩くと天安河原に着く。八百万(ヤオロオス)の神々が集合、岩戸開きの相談をされた所と伝えられ、訪れた人々の祈りが石積に込められている。ルルドに何となく似ている。次に高千穂峡谷に行く。ここは五ヶ瀬川が阿蘇溶岩を浸食した事で生まれた深いV字型の渓谷で、そそり立つ断崖、謎を秘めた深い淵は国の名勝、天然記念物にも指定されている。「輝き続ける荘厳な自然の造形美」と示されており、真名井の滝は勢い良く五ヶ瀬川に落下し、その近辺にはボートをこぐ姿を見下せた。一瞬ここだけ違う夢の世界に入り込んだ様で皆釘付けとなる。何と美しい光景だろうと。遊歩道を歩く内に渓谷は狭くなり、槍飛と云う所らしい。バスは曲がりくねった山道を登り山頂に出る。「国見ヶ丘」の自然展望台と云い「天孫降臨と高千穂」と示された巨大な三人の神々の像が丘の上から下界を見下ろしている。標高五百十三米と見晴らしがよく、十一月頃には雲海が見られると云う。下山して国民宿舎高千穂荘に着く。新築で近代的で実に居心地が良い。夜には近くの高千穂神社で夜神楽(岩戸神楽)を舞う。(天照大神が天岩戸におかれなくなった神話)古典的で素朴で楽しい。宮崎バスの時刻改定で朝早くのバスが無いことが判り、翌朝早々に昨日の小型バスが送迎を引き受けてくれた。高森駅で車を降り、南あそ鉄道に乗り立野駅迄



来た。国道のバス停まで暫く歩く。「あそ一号A九州横断定期バス」は阿蘇山火口観光で予約しており、十一時過ぎ停車した。バスはやまなみハイウェイを阿蘇へと走る。車窓からは緑の山々が見え近づいてくる。草千里は広々とした草原と山々にかこまれている。山頂へはロープウェイに乗り火口を見物する。火口はエメラルド色かヒスイ色に近く美しい。廻りの岩石の層が赤茶など色あざやか、噴煙はほとんど無い。大阿蘇の山頂ともなれば小雨が降っていてなお寒い。下山すると草千里には霧が出て米塚は隠れてしまった。バスは広大な平野を走り湯布院を通過、別府方面へと向かう。鉄輪(かんなわ)バス停で下車。三泊目はかんぼの宿海南荘、温泉が楽しみである。温泉で疲れを癒し、翌朝宿から歩いて十五分くらいの「地獄巡り」に出掛けた。歩きたかったので私は参加し4人組、2人は疲れていたで真っ直ぐに行ったバス停で待ち合わせることにした。知らない土地ですれ違いお互いを見失う。心配しながら予定コースを終わらせた4人は計画した通り亀川駅までバスで行き、十一時三十分発の宇佐方面行きに待ちくたびれて予定通りの電車に乗った。宇佐駅から国東史跡めぐりのバスに乗り熊野磨崖仏へ、山道を三百米程登ると、鬼が一夜で築いたと云われる自然石の乱積石段があり、登ると左方の巨岩壁に刻まれた日本一雄大な石仏は、大日如来と不動明王という。小雨が降って傘をさし杖を使い両手がふさがり私だけ登る勇気がなく後悔した。バスに戻り真木大堂と富貴寺に参拝し駅にもどった。バス会社の人から二人が宇佐神宮に行ったと聞き私達も急いだ。「本宮の社殿は檜皮葺白壁、朱漆柱で華麗かつ宏大で訪れる人々はしばし時の経つのも忘れる」との通り美しい。バスで駅に戻ると二人は待っていてお互いの無事を喜び反省すべき点を考え合った。携帯電話がもしあったらと思う。宇佐発十七時五十分寝台列車特急富士号に六人は乗り交友を暖め合った。車輛の振動が馴れずに寝れないで時々夜の車窓を眺めて過ごした。今回の旅行ではザビエルの聖腕を拝領できたお恵みと九州の名所旧跡を盛沢山計画して下さった石川さん始めお世話になった皆様に感謝。翌朝九時半横浜駅に到着、夫々帰路についた。

横浜教区第5地区福音宣教委

平成11年度第2回例会議事

日時：平成11年9月19日 (PM2:00~4:00) 参加者：22名(中和田教会:清尾史子さん)

議題1、5. 各教会の活動状況

	2000年の大聖年に向けて	各小教区の活動報告
大船教会	平成12年は教会創立50周年記念行事実施。第5地区内の教会を互いに知るべく巡礼実施	小中高生の集いの会 11月14日:バザー 2000年は教会創立50周年記念。記念行事を計画。
藤沢教会	バーガー神父様の後任にトーマステハン神父様が着任。霊的エネルギーの発掘	8月7日:ガーデンパーティー、8カ国の人達と国際交流 9月11日:湘南台センター5周年記念行事 10月24日:バザー
片瀬教会	黙想会の計画	11月7日:大聖年に向けて自由に話し合う会。
中和田教会	巡礼への積極的参加	10月31日:バザー(使い捨て食器不使用、ごみ分別、リサイクルを実行) 8月29日:第10回卓球大会 9月12日:敬老のお祝い。いるかグループ(初聖体前の子供達が教会に親しめるように)
原宿教会	第5地区内のほぼ中央にある「聖母の園原宿」に是非巡礼を。	11月7日:戸塚バザー、戸塚教会と合同行事
戸塚教会	教会創立50周年を記念し、記念誌、黙想会、音楽会、講演会の各行事を計画	11月7日:バザー、来年は教会創立50周年 大聖年2000年に向けて、黙想会、音楽会、講演会等の行事を計画
鍛冶ヶ谷教会		9月15日:長寿を祝う会 10月31日:バザー

議題2. 第5地区内の福祉の充実を計る…小冊子の発行

公表出来る範囲で、どの地区でどの様な福祉活動が行われているかのアンケート調査を行う。各地区で、福祉部等と相談のうえ、担当者を決め、山本神父様に連絡のこと。

議題3. 第5地区インターネットホームページの開設

各地区で担当者を選出し、10月3日、午後2時、藤沢教会にて会議を行う。中和田教会:小野雅彦氏

議題4. 報告事項

a) 滞日外国人と連帯する会

9月26日10時、逗子教会にて国際ミサが行われる。

b) 湘南短期キリスト教セミナー

片瀬教会にて。時間は毎回14:00~16:00
11月13日(土) 高祖神父(ザビエルにとっての日本宣教)
11月20日(土) Sr.渡辺和子(時間に愛をこめて)
11月27日(土) A.デーケン神父(生と死とユーモア)
参加費1000円(3回共参加可) 申し込み締切:11月6日(土)、当日の申し込み可。

デーケン神父様のご希望で11/27終了後立食パーティー

c) 一粒会報告

鎌倉雪ノ下教会で総会
一粒会の小冊子(第3地区で作成)の配布
市岡神父様叙階式以来の祈りのリレー…10月原宿、11月戸塚、12月中和田で終了。

環境コーナー

ゴミの山が火事!

清尾 史子

8月24日の夜、横浜新道沿いにあるゴミの山が、火事になっていました。ゴミを燃やすと有害なダイオキシンが発生するということで、学校や家庭で使っていた小型の焼却炉も使用禁止になっているというのに、あれほどのゴミの山が、黒い煙をあげてメラメラと燃えている様子は、実に恐ろしい光景でした。

ドイツでは、循環型経済社会を実現しつつあるそうです。reduce(削減)、reuse(再使用)、recycle(循環)、そして、最終発生物の適正処理システムを作りあげること。私が見たテレビ番組では、ドイツの小学校が、子供たちにこれらのことを実際に体験させながら丁寧に教育している様子を写し出していました。

大人が次の世代に、誠意と熱意をもって伝えていくべき大切なことだと思います。どこにでも24時間営業のコンビニがあって、いつでもどこでも簡単に欲しいものが買えて、使い捨ての容器もポイと捨てられる。こんな便利さも、きちんとした考えと節度をもって、感謝しつつ利用できるような大人に育てていきたいものです。

ペンギンのコーラス

広報251号(10月号)の壮年会だよりで紹介されたペンギンのコーラスを見たいという要望が多かったので、小谷さんの御好意で掲 させて頂きました。(カラーで載せられないのが残念です。)

作者: 畑中 務さん(小谷さんのお婿さん)

(朝日新聞96年1月18日夕刊には「町の達人」として木馬作りの趣味が紹介されました。)



第12回丹波の森ウッドクラフト展入賞作品